

箱根火山のGPS観測*

Ground deformation monitoring by GPS at Hakone Volcano

産業技術総合研究所地質調査総合センター**

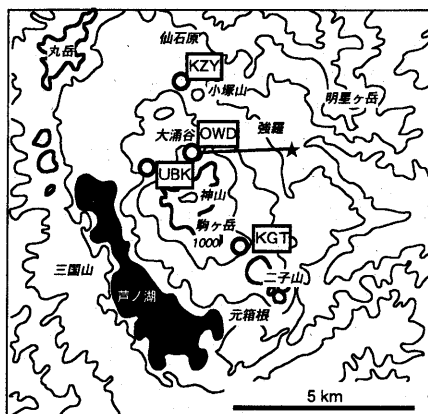
神奈川県温泉地学研究所***

Geological Survey of Japan, AIST

Hot Springs Research Institute of Kanagawa Prefecture

箱根火山カルデラ内では、2001年6月下旬～8月にかけて群発地震が発生し、国土地理院の電子基準点や神奈川県温泉研究所の傾斜計にも明瞭な地殻変動が観測された。箱根火山中央部では、神奈川県温泉地学研究所による地震や地殻変動等の観測が行われているが、地質調査総合センターでは、これら空白域を補いつつ、中央部の局所的な変動の有無を調べるため、緊急にGPS観測を実施した。

第1図に測点配置を示す。GPS受信機は、古野電気製1周波型センサーMG2110型を使用した。測点は堅牢な建造物または露岩に5/8ネジを固定する方法で設置し、これにセンサーを直接設置して観測した。観測時間は当初24時間連続で行い、一時的に夜間12時間に変更したが、最終的には再度24時間連続とした。第2図に強羅の電子基準点（第1図の★印）に対する大涌谷OWD点の3成分および基線長の変化を示す。種々の都合でデータの欠測が生じたが、大涌谷付近ではこの間、局所的に大きな変動はないものと判断される。

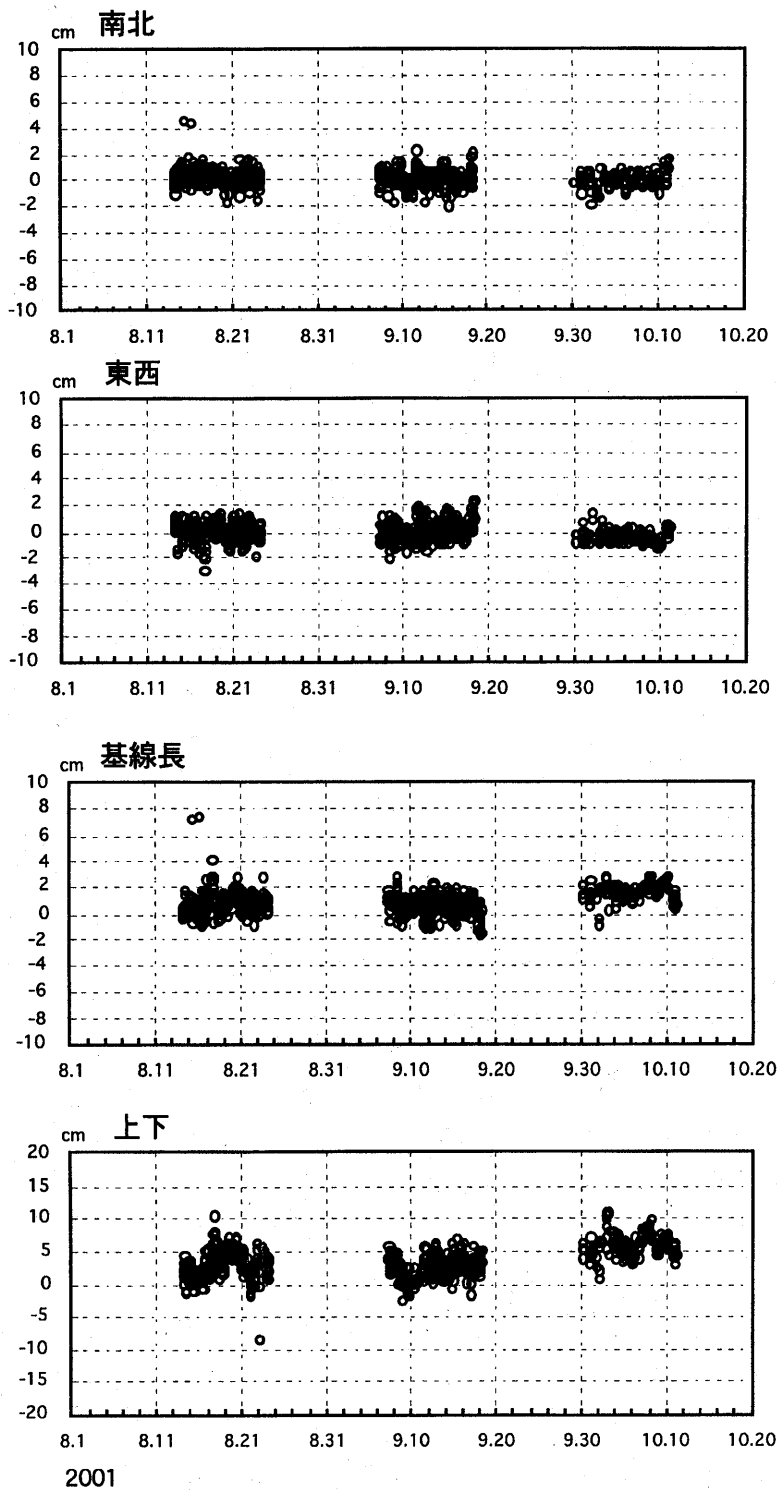


第1図 測点配置
Fig.1 GPS points.

* Received 25 Dec., 2001

斎藤英二**・宇都浩三**・萬年一剛***

Eiji Saito, Kozo Uto and Kazutaka Mannen



第2図 OWD点の三成分と基線長の変化
 Fig.2 Changes in the three components and base length of the OWD point.